

(社)日本原子力学会 第29回 標準委員会 (SC) 議事録

1. 日時 2007年11月02日 13:00～18:00
2. 場所 原子力安全基盤機構 別館13階 13A, B会議室
3. 出席者 (敬称略)
(出席委員) 宮野 (委員長), 平野 (幹事), 神田, 岩田, 岡本, 西脇, 山根, 喜多尾, 西岡, 岡本 (太), 柳沢, 辻, 吉田, 北島, 阪口, 原, 柴田, 常松, 三枝, 重政, 百々, (21名)
(代理出席委員) 鬼島 (林委員代理) (1名)
(欠席委員) 田中, 饗場, 千種, 青柳, 石島, 小川, 松本 (7名)
(常時参加者) 板垣, 山本 (2名)
(傍聴者) 笠井, 河井 (原技協), 友澤 (四電), 明里 (関電PT), 佐藤 (東電環境), 藤田 (原子力エンジニアリング) (6名)
(事務局) 村上, 岡村
4. 配付資料
配布資料
SC29-1 第28回標準委員会議事録 (案)
SC29-2-1 人事について [標準委員会] (案)
SC29-2-2 人事について [専門部会] (案)
SC29-3-1-1 発電炉専門部会活動状況報告
SC29-3-1-2 原子力発電所の高経年化対策実施基準改定の検討状況について (PLM分科会報告)
SC29-3-2-1 原子燃料サイクル専門部会活動状況報告
SC29-3-2-2 「放射性廃棄物の放射能濃度決定方法—原子力発電所から発生する低レベル放射性廃棄物の放射能濃度決定方法に関する基本手順—浅地中ピット処分廃棄物について—」の誤記修正について
SC29-4-1 第8回原子力安全基盤小委員会の概要
SC29-4-2 JIS Z 8301最新版の適用の考え方と標準作成手引きの改訂について (案)
SC29-5 「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方」及び「放射性廃棄物の放射能濃度決定方法—原子力発電所から発生する低レベル放射性廃棄物の放射能濃度決定方法に関する基本手順—浅地中ピット処分廃棄物について—」の販売計画(案)
SC29-6-1 日本原子力学会標準委員会改革の提案と具体的実施内容
SC29-6-2 原子力学会組織図 (改訂案)
SC29-6-3-1 標準委員会体制強化について (標準委員会組織改正)
SC29-6-3-2 標準委員会組織図 (改組案)
SC29-6-4 日本原子力学会 標準委員会 委員活動について
SC29-7-1 中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所の被害状況及び現状について
SC29-7-2 日本原子力学会における中越沖地震対応について (概要)
SC29-7-3 地震PSA標準について
SC29-8 原子力学会地震P S A実施基準 講習会 構想 (案)
SC29-9 “原子力法制の在り方”特別委員会の設置案
参考資料
SC29-参考1 特別講演資料「グローバルビジネス時代の国際標準化戦略」
SC29-参考2 標準委員会委員任期 一覧表
SC29-参考3 標準委員会及び各専門部会開催スケジュール(案)

5. 議事
(1) 出席者, 資料の確認
事務局より, 開始時点で委員29名中代理を含めて20名の委員が出席しており, 決議に必要な委員数 (20名) を満足している旨, 報告された。

(2) 前回議事録の確認
事務局より, 事前に前回議事録を電子メールにて配布し, 3件のコメントがあったこと、これらのコメントを反映した議事録版であるが声明された後、承認された。(SC29-1)

- (3) 人事について (SC29-2-1, 2-2)
- a. 標準委員会
 - ①新任: 神田様、重政様、千種様、辻様、常松様、及び西村様が委員として選任された。
 - ②再任: 宮野委員、岩田委員、喜多尾委員、柳沢委員及び阪口委員が再選任された。
 - ③退任: 佐藤委員、塩田委員、大西委員、山下委員、山田委員、及び吉村委員の退任が報告された。
 - b. 原子燃料サイクル専門部会
 - ①新任: 有江委員及び杉山委員の新任が承認された。
 - ②再任: 仲神委員の再任が承認された。

③退任：三塚委員、佐久間委員の退任が報告された。

c. 発電炉専門部会

①新任：和智委員、豊住委員、宮田委員及び福田委員の新任が承認された。

②再任：西村委員の再任が承認された。

③退任：安部委員、玉越委員及び矢作委員の退任が報告された。

(4) 専門部会活動状況報告

a. 発電炉専門部会

1) 第26回実施状況報告 (SC29-3-1-1及びSC29-3-1-2)

事務局より発電炉専門部会の活動状況が報告され了承された。

2) PLM分科会活動状況 (SC29-3-1-2)

PLM分科会幹事より原子力発電所の高経年化対策実施基準改訂版の検討状況が報告され了承された。

b. 原子燃料サイクル専門部会

1) 第27回実施状況報告 (SC29-3-2-1)

事務局より、第28回原子燃料サイクル専門部会の活動状況が説明され了承された。

主な議論：

- サイクルの分科会設置について説明があったが、サイクル専門部会の組織、活動のポリシーはどのようなものか。

→ サイクル専門部会においても、ロードマップ的なものを作成しているので、いずれ報告する。

- 標準原案の誤記修正 (SC29-3-2-2)

事務局より、SC28-3-2-2に沿って「放射性廃棄物の放射能濃度決定方法－原子力発電所から発生する低レベル放射性廃棄物の放射能濃度決定方法に関する基本手順－浅地中ピット処分廃棄物について－」の誤記修正について」の誤記修正並びに著作権追記の報告があり、了承された。

(5) 標準委員会運営タスク (原子力基盤小委) の活動報告 (SC29-4-1, SC29-4-2)

神田委員より、SC29-4-1に沿って、原子力基盤小委の報告書について、概要並びにパブコメの結果等について説明があった。

また、事務局よりSC29-4-2に沿って標準作成手引きの改訂作業開始並びに改訂までの間の運用が提案され、了承された。

(6) 「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方」及び「放射性廃棄物の放射能濃度決定方法－原子力発電所から発生する低レベル放射性廃棄物の放射能濃度決定方法に関する基本手順－浅地中ピット処分廃棄物について－」の制定並びに販売計画 (案) の審議 (SC29-5)

事務局より、「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方」及び「放射性廃棄物の放射能濃度決定方法－原子力発電所から発生する低レベル放射性廃棄物の放射能濃度決定方法に関する基本手順－浅地中ピット処分廃棄物について－」の制定について提案があり、さらにSC29-5に沿って販売計画 (案) が説明され、了承された。

(7) 標準等運営部会の設置と標準委員会の改組について (SC29-6-1～4)

事務局より、SC29-6-1, 2に沿って、既に報告した標準委員会改革の内容について、現在の取り組み状況が説明された。また、SC29-6-3, 4に沿って、標準委員会の体制強化のための専門部会構成の見直し等について説明があり、各委員は持ち帰り、11/20までにコメント等を事務局に提出することとなった。

主な議論：

- 日本の人材、リソースを考えれば、本当に現場の役に立つ標準を、現場のニーズを吸い上げて作る必要がある。全体を最適化、管理する仕組みが必要。

→ ロードマップの作成においては、原技協や電事連からニーズを吸い上げている。

→ ロードマップは、毎回委員会で確認すべき。

- SC29-6-1で、標準開発部門は、特別専門委員会とした方が良い。

専門部会の構成見直しについては、現在だけでなく2～3年後も見越してやらないといけない。

- システム安全は、電気協会の規格との棲み分けが必要。
- 統計的安全手法は、核熱水力に近い。
- いつまでに決めるのか。
→ 規約類の改訂を伴うので、最終的には来年の総会。

(8) 中越沖地震への対応について (SC29-7-1～3)

吉田委員より、SC29-7-1に沿って中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所の被害状況及び現状について説明があり、続いて、地震P S A分科会の蛸沢委員より、SC29-7-3に沿って、地震P S A標準の概要と、中越沖地震を踏まえた今後の検討課題等について説明があった。さらに、宮野委員長よりSC29-7-2に沿って原子力学会における今後の対応について説明があった。

主な議論：

- 説明用の資料は、横軸が加速度だけで整理されているが、実際には変位や繰り返し回数等他にパラメータがあるはず。680GALだけが一人歩きしているので、もっとアピールして欲しい。
- 今回得られるデータで、フラジリティ評価を見直すことができるのか。
→ 解析と合っていないものについては、ばらつき等のデータを修正することになる。

6. 次回の予定

次回委員会は、当初の計画である12月6日（木）13:30～を仮設定するが、翌週に変更できないか、委員の都合、会場の都合等を検討することとなった。

以上